

リバーシブルキッチン

～住宅キッチンの3つの可能性～

趣味のひとつとして「料理」が挙げられる。

料理上手なお母さん。一度は料理人の道を夢見た会社員のお父さん。

そんな料理好きな人のために家族と街の団らん空間を生み出す住宅キッチン提案する。

コンセプト

「住」において「食」は必要不可欠な要素であり、キッチンはなくてはならない存在である。

しかし従来の間取りにおいてキッチンは隅に置かれる傾向がある。

これは住宅計画の間取りにおける収束であると言えるが、隅にあるからこそ活かせるキッチンの活用方法もある。

そこで今までの住宅の間取りを残したまま、新たなキッチンのあり方を提案する。

家族との食卓、子供の誕生日会やママ会といった友達を呼んだパーティー、そして仕事が休みの日に開く週末カフェ。

キッチンに表裏をなくしどちらからでも使えるようにする事で、

家族、友人、そして街のコミュニティーへと用途に応じた使い方を可能にした。

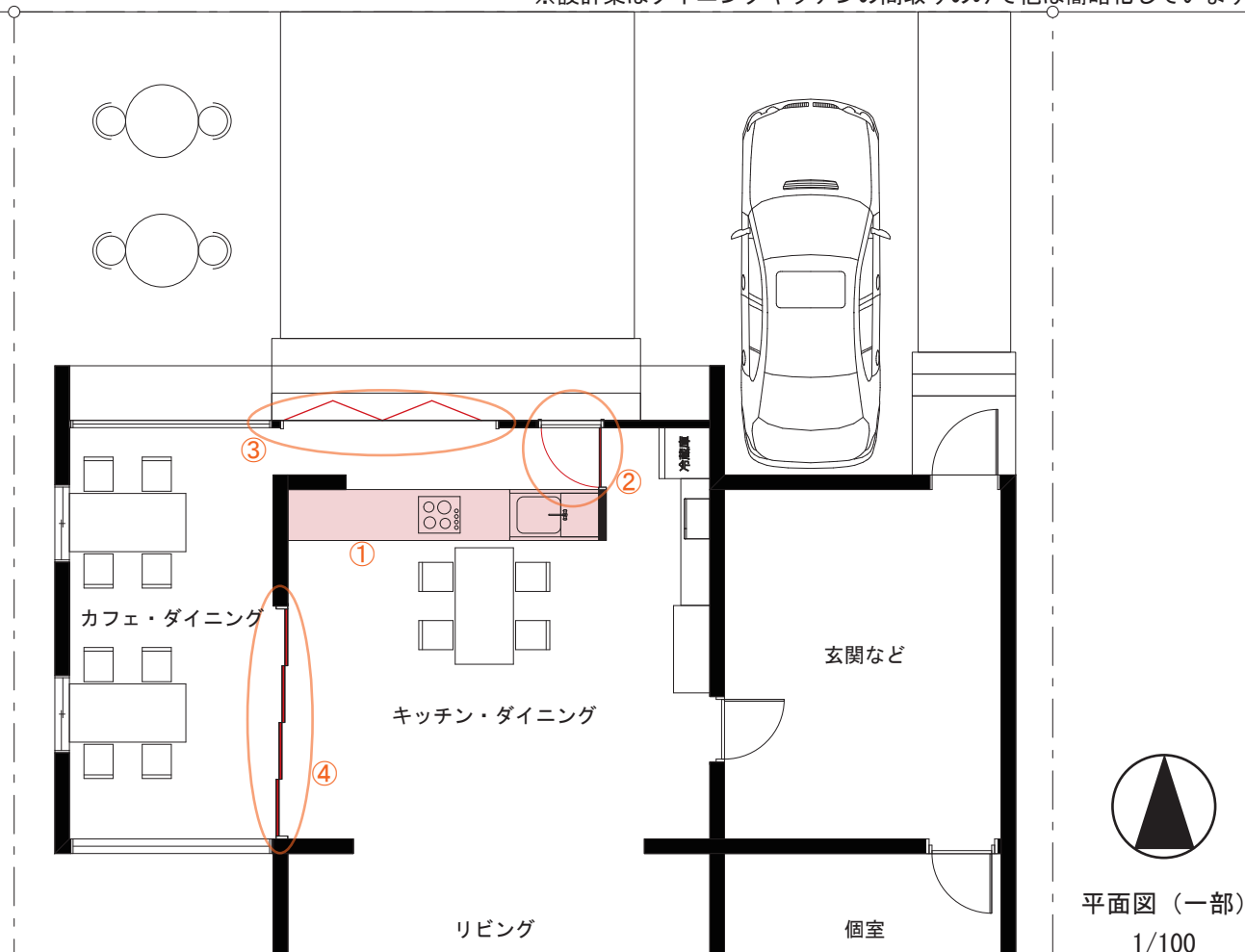
さらにキッチン1つでその場に人と人との繋がりを導くように住宅設計に工夫を施した。

親がキッチンに立てば子供は手伝い、外に開けば家族の料理を皆でシェア。

家族、友人、近隣の方々、たまたま通りかかった人。

いつしか人が集まり、そこには団らんと呼べる空間が広がる。

※設計案はダイニングキッチンの間取りのみで他は簡略化しています。



設計のポイント

工夫① キッチンのリバーシブル化 → 料理する対象を1つに絞らないようにした。

工夫② 扉のスイッチ化 → 開閉によりキッチン空間を用途に応じて切り替えられるようにした。

工夫③ 外部と内部を繋ぐ折り畳み扉 → キッチンに街を開き、街と家族を繋ぐようにした。

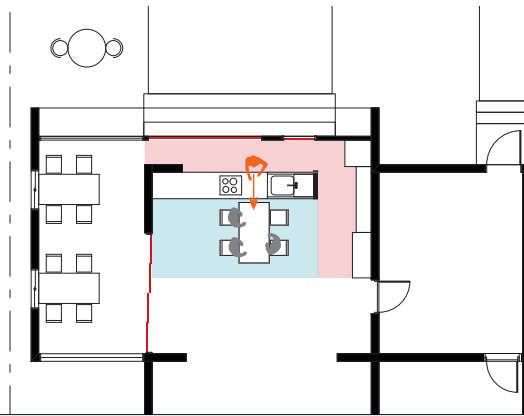
工夫④ 部屋を仕切る引き扉 → カフェ用ダイニングと住宅内を仕切ったり、ダイニングを広げる。

パターン1 ダイニングキッチン

扉を全て閉じることによって

一般的な住宅のダイニングキッチン空間になる。

家族団らんとなるためにキッチンを対面型にし、料理する人も食事する人も向き合える形にした。



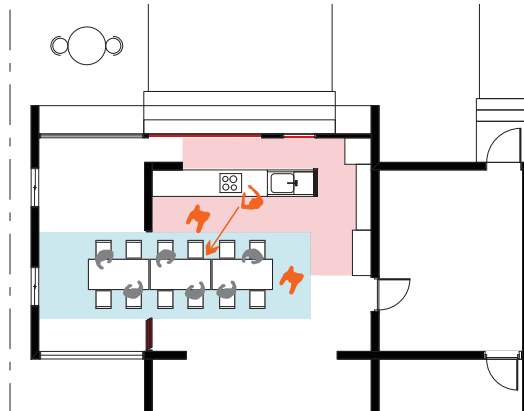
パターン2 パーティーキッチン

引き扉のみを開ける事により

ダイニング空間を広くする事ができる。

料理好きの人がふとキッチンを使う

パーティー空間として使えるようになる。



パターン3 週末カフェ

外を繋ぐ折り畳み扉とスイッチ扉を開ける事で

屋台のような週末カフェとなる。

「料理」を街に開き、1つのコミュニティーとして

街と家族の団らん空間ができる。

